〈地方創生推進タイプ〉

○「世界とつながる 豊かなローカル」構築事業～輸出で「稼ぎ」次世代へ「繋ぐ」～

【担当課】 水産課

【事業期間】 R2～R4

【事業概要】

1．水産業担い手対策支援事業

・求人・応募対応（漁業求人サイト「TRITONJOB」によるマッチング）

・担い手居住支援（空き家バンクや災害公営住宅の空き室を利用してのお試し移住）

・漁師学校等の企画・運営

・地域漁業情報を発信するイベント運営・コンテンツ作成など

2．農林水産物加工品輸出促進支援事業

・輸出促進計画の策定：専門家の招聘、指導

・海外マーケット調査：海外の消費動向の調査、新型コロナウイルス感染症収束後における海外バイヤー等の招聘　等

・輸出商品の試作：輸出先のニーズに合わせた試作商品開発、商品パッケージ開発、試作品のバイヤー等への求評　等

・海外販売促進活動：新型コロナウイルス感染症収束後における海外での見本市・展示会等への出展　等

【KPI】

KPI①	新規就業者数		単位	人
KPI②	水産加工品輸出額		単位	トン
	事業開始前	1 年目（R2）	2 年目（R3）	3 年目（R4）
KPI①目標	0	2	4	6
KPI①実績	0	3	4	3
KPI②目標	26.47	10	15	25
KPI②実績	26.47	27	55	51

【成果】

KPI①

新型コロナウイルス感染症により、市外からの人の出入りが制限され、漁業体験等が予定通り実施できない時期があったが、地方移住に興味のある者をオンライン面談等で呼び込み、就業に繋げることができた。

KPI②

新型コロナウイルス感染症により，海外販売促進活動が制約されたものの，現地ニーズに対応した商品を提案したことで，目標を達成できた。

〇自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業～官民共同・地域間連携による企業版関係人口創出・右腕人材マッチングプラットフォームの開発～

【担当課】 震災復興・企画課、産業戦略課、観光課、地域づくり推進課、学校教育課

【事業期間】 R3～R7

【事業概要】

■企業版関係人口等拡大事業（関係人口創出事業）

① 副業・兼業人材活用支援プログラム（都市部人材の活用に関する講演会の開催、マッチング等に使える補助金の創設）

② 事業・デジタル変革促進拠点整備（専門家による定期的な相談機会の創設）

③ DX リテラシー向上事業（DX の推進を後押しする勉強会などの開催）

④ 人材バンク形成事業（市内の事業変革・DX に参画した都市部の企業人材や専門家等の情報の集約、人材バンクの形成）

■重点ベンチャー支援事業（新事業創出加速化事業）

事業・デジタル変革を担う人材育成と事業の高収益化を推進する仕組みづくりを行う。

①市内事業者の底上げプログラム

②地域の事業者の「参謀」プログラム

■観光産業成長支援事業

① データに基づく「観光経営」に向けた体制の構築

・顧客、店舗等へのアンケートによるリサーチにより，経営戦略の策定及び各種施策の効果測定を実施することで PDCA サイクルに基づく事業推進体制の構築）

・「気仙沼マーケティングレポート」の随時発行と観光ローカルベンチャーや地元事業者の経営判断の支援

② 「おかえりモネ」ファンから「気仙沼」ファンにする仕掛けづくり事業

・ドラマファンに気仙沼への興味・関心を掻き立てるプロモーションの展開と市内事業者と連携したドラマに関連するモノやコトの商品化の推進

③ 「美食の街」ブランディング推進事業

・市内飲食店のデータ整理と観光ポータルサイトへの掲載、各検索エンジンのビジネスアピール機能の活用等の支援

・戦略的食材を設定し，特集記事や産地ならではのストーリーなどと共に紹介するページの制作

④ One to One マーケティング強化事業

・顧客情報等を活用し収益を向上できるよう，マーケティング分野における勉強会や実践を促すための伴走支援を行う。

・併せて，各事業者がクルーカードから得られる顧客データを自ら管理し，分析できるようデータ利用環境の高度化を行い，DX 化の意識醸成及び実践を促す。

⑤ 地域観光情報発信事業

・高頻度かつ訴求力のあるWEBサイトの更新やパンフレットの制作による地域の観光プロモーションの展開
・地元事業者の DX 化の進展に合わせたコンテンツへの参画や情報発信による地域一体となったプロモーションを展開する。

⑥ インバウンド推進事業

ポストコロナを見据え，インバウンド強化に向けたFAMツアーの実施、現地営業・現地媒体でのプロモーション及び多言語WEBサイトの拡充

■地域の担い手育成事業

①まち大学構想推進事業

・市内事業者が情報共有・連携できるプラットフォームの構築
・ローカルベンチャーのアイディアを事業化させるための伴走支援の実施

②地域活力の維持に向けた地域の担い手人材拡大事業

・地域活動に意欲を持つ人材の発掘、育成するための連続講座の実施、伴走支援の実施

③外国人材による産業の担い手に向けた取組の実施

・外国人技能実習生を中心とした日本語教室の実施

④学校教育の魅力化を通じた課題解決人材の育成（探究コーディネーター）

・課題解決型人材である探究コーディネーターの派遣、地域協働体制の構築等

【KPI】

KPI①	ローカルベンチャーによる売上規模				単位	千円
KPI②	都市部企業等との協働プロジェクト件数				単位	件
KPI③	課題解決型人材の増加数				単位	人
KPI④	事業ノウハウ移転地域数				単位	地域
	事業開始前	1年目（R3）	2年目（R4）	3年目（R5）	4年目（R6）	5年目（R7）
KPI①目標	3,610,830	704,000	843,900	1,102,400	1,313,600	1,568,825
KPI①実績		721,815	686,559	2,488,502		
KPI②目標	25	43	45	54	57	64
KPI②実績		65	46	57		
KPI③目標	204	222	207	257	267	337
KPI③実績		320	286	524		
KPI④目標	9	12	22	27	27	27
KPI④実績		26	42	57		

※R5のKPI実績は見込の数字

〇被災３県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト

【担当課】 震災復興・企画課、観光課

【事業期間】 R3～R5

【事業概要】

１．観光・物産・移住定住情報発信センターの設置・運営

２．朝ドラ舞台周遊や開発産品販売を促進するための広告・宣伝

３．観光物産 PR・移住促進合同おかえり事業（３市合同の首都圏イベント等）

４．ロケツーリズム推進事業、商品開発等

【KPI】

KPI①	情報発信・交流センター産品年間売上額		単位	円
KPI②	情報発信・交流センター年間来訪者数		単位	人
KPI③	福島市・気仙沼市・久慈市の観光客入込数の和		単位	人
	事業開始前	１年目（R3）	２年目（R4）	３年目（R5）
KPI①目標	0	75,000,000	25,000,000	20,000,000
KPI①実績	0	13,094,131	20,278,566	25,238,206
KPI②目標	0	150,000	50,000	50,000
KPI②実績	0	25,052	35,406	44,108
KPI③目標	9,147,137	100,000	120,000	150,000
KPI③実績	9,147,137	-3,200,860	4,021,993	935,570

【成果】

KPI①・②

新型コロナウイルス感染症の状況により来訪者・売上に影響があった。

情報発信センターは一定の役割を果たしたものとして閉店としたが、本事業で生まれた三市交流の成果を生かし、今後も持続的な交流事業を続け、各市の事業展開に繋げていく。

KPI③

１年目は新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が落ち込んだが，２・３ 年目はアフターコロナにおける観光需要の拡大により、多くの観光客が訪れたため。

〇復興から地方創生へ,スローシティ気仙沼のシビックプライド醸成事業（まちなかプラットフォーム）

【担当課】 都市計画課

【事業期間】 R4～R6

【事業概要】

1．ウォーターフロント活用事業（海上レストランプロジェクト、水上アクティビティプロジェクト等の社会実験の実施）

2．道路の歩行者空間化調査

3．まちなかエリアリノベーション事業の推進体制構築の支援

4．まちなかエリア全体のブランディングを行い,投資誘引や事業者参入を促すための営業ツールとして活用

【KPI】

KPI①	観光客宿泊者数		単位	人
KPI②	社会実験の来場者・参加者数		単位	人
KPI③	事業と連携した民間事業者の参入・自走化		単位	件
	事業開始前	1 年目（R4）	2 年目（R5）	3 年目（R6）
KPI①目標	195,712	5,000	5,000	15,000
KPI①実績		63,525	62,725	
KPI②目標	0	120	200	250
KPI②実績		698	550	
KPI③目標	0	0	1	5
KPI③実績		0	1	

【成果】

KPI①

コロナ禍で旅行を控えてた観光客が大幅に増加した。本事業による新たな魅力創出や観光施策とも連携し、新規やリピーターの獲得につなげる。

KPI②

本事業の取組への注目度から想定より上回った。観光客や市民にとって関心の高さがうかがえた。社会実験により参入障壁の高いことも明らかになったため、自走化も含めた進め方の再検討を行う。

KPI③

事業の進捗は想定どおりであり、引き続き事業の自走化や事業者誘致を進める。

〇～復興から創生へ～２つの市民会議を通じた「人口減少対策」と「持続可能な社会構築」の推進

【担当課】 震災復興・企画課、情報政策課、産業戦略課、水産課、子ども家庭課、学校教育課

【事業期間】 R5～R7

【事業概要】

本事業では、市民それぞれ１００名から構成される２つの市民会議（「人口減少対策市民会議」、「持続可能な社会の構築市民会議」）の立ち上げを軸として、現在の取組の共有を行うとともに課題を市民全体で幅広く議論し,市民や地域、企業、行政など様々な主体がそれぞれの分野における取組を推進することで、「人口減少の緩和と改善」につなげていくとともに、本市ならではの豊かさを次世代につなげ「持続可能な社会」の構築を目指すものである。

1．（仮称）人口減少対策市民会議関係（市民会議の開催・運営、人口減少対策アクションプランの策定、市民アンケート等）
2．（仮称）気仙沼市持続可能な社会推進市民会議（市民会議の開催・運営、視察等）
3．デジタル活用支援及びデジタル化普及促進事業（スマホ教室等）
4．デジタル人材の育成事業（WEB マーケティング,広告運用講座の実施、個別伴走支援等）
5．地域内雇用促進等事業（市内高校への出前講座、企業ガイドブック作成・配布等）
6．産業人材育成事業（企業の経営者に対する育成プログラム、事業の改革・事業承継等に関する講演会・セミナー等の開催）
7．気仙沼学びの産官学コンソーシアム事業（高校生と経営者の協働やコラボ企画の推進、講演会の開催等）
8．子育て支援市民交流ワーキング事業（タウンミーティングの実施、子育て支援団体の育成支援、子育て関係情報の発信等）
9．持続可能な水産業の促進事業（全国的にもシェアの高い水産資源,地域で活かしきれていない水産資源の商品開発等）

【KPI】

KPI①	本事業を通じて市内に就職した人数		単位	人
KPI②	雇用環境改善に取り組む企業の数		単位	社
KPI③	本事業を通じた人材育成人数		単位	人
KPI④	市民会議・関連する会議の参加者数		単位	人
	事業開始前	1 年目（R5）	2 年目（R6）	3 年目（R7）

KPI①目標	0	80	92	92
KPI①実績	0	162		
KPI②目標	0	3	3	3
KPI②実績	0	0		
KPI③目標	0	20	20	20
KPI③実績	0	33		
KPI④目標	0	200	200	200
KPI④実績	0	211		

【成果】

KPI①

市内企業の情報を載せたガイドブックの作成により就職希望者への市内企業の情報を発信したことにより新規の就業に繋がった。

KPI②

令和５年度は制度の検討・設計期間としたため KPI は未達成となった。

KPI③

デジタル人材や経営人材の育成プログラムの周知を効果的に行ったことより KPI の目標人数を達成することができた。

KPI④

市ホームページや市広報を通じて効果的に周知を行ったほか、市内企業への声がけなどを精力的に行ったため想定を上回る参加人数となった。

〈地方創生拠点整備タイプ〉

○気仙沼大島賑わい・観光拠点整備プロジェクト

【担当課】 観光課

【事業期間】 R4～R6

【事業概要】

１．駅舎等整備事業

①斜行エレベーターの駅舎として、山頂駅舎の工事を行う。

②駅舎附帯施設（トイレや軽飲食,物販等が可能な施設）を整備する。

２．斜行エレベーター整備事業

①山頂までの斜行エレベーター整備工事を行う。

②山頂までの斜行エレベーター電気設備工事を行う。

【KPI】

KPI①	亀山山頂来訪者数		単位	人
KPI②	亀山山頂来訪者による市内観光消費額		単位	円
KPI③	気仙沼市内観光宿泊者数		単位	人
KPI④	施設内(各レストハウス及び斜行エレベーター）売上高		単位	円
	事業開始前	1 年目（R4）	2 年目（R5）	3 年目（R6）
KPI①目標	32,850	0	0	23,150
KPI①実績		0	0	
KPI②目標	164,250	0	0	138,150
KPI②実績		0	0	
KPI③目標	213,075	23,012	25,498	28,251
KPI③実績		35,251	10,111	
KPI④目標	0	0	0	39,200
KPI④実績		0	0	